## 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月		長名			所在地			
日本工学院専門	<b>門学校</b>	昭和51年7月		英詞		44-8655 夏京都大田区西蒲E	<b>∃</b> 5−23−22			
設置者名		設立認可年月	日 代表	者名		3-3732-1111	所在地			
学校法人片柳:	学園	昭和25年3月	1日 千芽	葉 茂	(住所) 耳	44-8655 東京都大田区西蒲F	<b>⊞</b> 5−23−22			
分野	認知	定課程名	認定学科	名		3-6424-1111 士認定年度	高度専門士認定	年度	職業実践専	門課程認定年度
工業	工業	尊門課程	CG映像科	1	平成2	9(2017)年度	-		令和 :	2(2020)年度
学科の目的							められている分野別の 対育の充実を目標として		るい特化した 授	受業、それに伴った
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		一検定、色彩検定、 15名(4.35%)	カラーコーディネーター	一検定、ビジ	ネス著作権核	定				
修業年限	昼夜		な総授業時数又は総 立数	講	義	演習	実習	実	験	実技
3	昼間 ※	単位時間、単位いずれ に記入	2,430 単位時間 単位	480	単位時間単位	単位時間	2,490 単位時間 単位		単位時間単位	単位時間単位
生徒総定員	生徒実員	員(A) 留学生	数 (生徒実員の内数)(B)	留学生害	引合(B/A)	- 平位	<b>平</b> 四		<b>平</b> 应	- 平位
360 人	309 人		37 人	12	%					
	■卒業者数		98	1	<del>,</del>					
	■就職希望 ■就職者数		97 88		<del></del>					
	■地元就職	者数(F)	37		<u>X</u>					
	■就職率(E ■就職者に	E/D) 占める地元就職者 <i>の</i>			%					
		占める就職者の割合	38		%					
			88		%					
就職等の状況	<ul><li>■進学者数</li><li>■その他</li></ul>		1		<u> </u>					
	9人									
	(令和	6 年度卒業者	に関する令和7年5月1	日時点の情報	吸)					
	■主な就職	先、業界等								
	(令和6年度卒		っせきみみ マラバ							
				ハウェデザ	_げつご にっぺ					
		フモホールディング BSスパークル、株:	ス株式芸社、アマノ、 式会社東京ドーム、							
	株式会社TE ■民間の評	BSスパークル、株 価機関等から第三	式会社東京ドーム、 者評価:							
第三者による	株式会社TE ■民間の評	BSスパークル、株	式会社東京ドーム、 者評価:			チュアズ <u></u> 無	5.伊什用之 4444			
第三者による 学校評価	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、例	BSスパークル、株 価機関等から第三	式会社東京ドーム、 者評価:			チュアズ 無 語	F価結果を掲載した ホームページURL			
学校評価 当該学科の	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、例	3Sスパークル、株 価機関等から第三 例えば以下について任	式会社東京ドーム、 者評価:	株式会社市		チュアズ 無 語				
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、係	38スパークル、株: 価機関等から第三 例えば以下について任 価団体:	式会社東京ドーム、 者評価:	<b>株式会社</b> 市 受審年月:		チュアズ 無 語				
学校評価 当該学科の	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、係 評価 http://www.	BSスパークル、株: 価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: .neec.ac.jp/departr	式会社東京ドーム、;  者評価:  意記載	<b>株式会社</b> 市 受審年月:		チュアズ 無 語				
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、6  PH  http://www.	BSスパークル、株 価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: .neec.ac.jp/departr 情間による算定)	式会社東京ドーム、;  者評価:  意記載	<b>株式会社</b> 市 受審年月:		チュアズ 無 語		2 070	<b>単</b> 位 陸間	
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、6  PH  http://www.	BSスパークル、株 価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: .neec.ac.jp/departr 時間による算定) 授業時数	式会社東京ドーム、; 者評価: 意記載 ment/design/graphic	受審年月:	パリゴン・ピ <i>ク⁻</i>	チュアズ 無 部			単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、6  PH  http://www.	SSスパークル、株 価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: .neec.ac.jp/departr 特間による算定) 記授業時数 うち企業等	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載 ment/design/graphic	株式会社ホ 受審年月: ss/ 習・実技の担	パリゴン・ピ <i>ク⁻</i>	チュアズ 無 部		300	単位時間単位時間単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、6  PH  http://www.	SSスパークル、株 価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: .neec.ac.jp/departr 特間による算定) 記授業時数 うち企業等	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載 ment/design/graphic を連携した実験・実 を連携した演習の授	株式会社ホ 受審年月: ss/ 習・実技の担	パリゴン・ピ <i>ク⁻</i>	チュアズ 無 部		300	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、6  PH  http://www.	asスパークル、株 価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: .neec.ac.jp/departr 特間による算定) 経授業時数 うち企業等	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載 ment/design/graphic を連携した実験・実 を連携した演習の授	株式会社ホ 受審年月: :ss/ 習・実技の担 業時数	受業時数	<b>チュアズ</b> 無 消 オ		300 0 2, 190	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、6  PH  http://www.	asスパークル、株 価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: .neec.ac.jp/departr 特間による算定) 経授業時数 うち企業等	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載 ment/design/graphic を連携した実験・実 を連携した演習の授 業時数	株式会社ホ 受審年月: でまたの担 業時数	受業時数 (*)・実習・実法	<b>チュアズ</b> 無 消 オ		300 0 2, 190	単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、6  PH  http://www.	BSスパークル、株 価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: .neec.ac.jp/departr 評問による算定) 授業時数 うち企業等 うち企業等	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載 ment/design/graphic を連携した実験・実 を連携した演習の授 選集時数 うち企業等と連携した	株式会社ホ 受審年月: :ss/ 習・実技の担業時数 た必修の実見 た必修の演習	受業時数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>チュアズ</b> 無 消 オ		300 0 2, 190	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した況	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、8 http://www. (A:単位時 総	BSスパークル、株 価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: .neec.ac.jp/departr 評問による算定) 授業時数 うち企業等 うち企業等	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載 ment/design/graphic を連携した実験・実 を連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	株式会社ホ 受審年月: :ss/ 習・実技の担業時数 た必修の実見 た必修の演習	受業時数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>チュアズ</b> 無 消 オ		300 0 2, 190	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれか	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、8 PH http://www.	BSスパークル、株 価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: .neec.ac.jp/departr 評問による算定) 授業時数 うち企業等 うち企業等	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載 ment/design/graphic を連携した実験・実 を連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	株式会社ホ 受審年月: :ss/ 習・実技の担業時数 た必修の実見 た必修の演習	受業時数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>チュアズ</b> 無 消 オ		300 0 2, 190	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した況	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、8 PH http://www. (A:単位時 総	### ### ### ### ### ### #############	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載 ment/design/graphic を連携した実験・実 を連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	株式会社ホ 受審年月: :ss/ 習・実技の担業時数 た必修の実見 た必修の演習	受業時数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>チュアズ</b> 無 消 オ		300 0 2, 190 0 300	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれか	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、8 PH http://www. (A:単位時 総	### (3 方 企業 等 を	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載 ment/design/graphic を連携した実験・実 を連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	株式会社ホ 受審年月: ss/ 習・実技の担 業時数 た必修の実駆 た必修の実取	受業時数 (**) ・実習・実 (**) ・実習・実 (**) で (**) で	<b>チュアズ</b> 無 消 オ		300 0 2, 190 0 300	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況 (A、Bいずれか	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、8 PH http://www. (A:単位時 総	### (**)	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載 ment/design/graphic を連携した実験・実 を連携した演習の授 楽等時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインター	株式会社ホ 受審年月: ・実技の担 業時数 た必修の実験 ーンシップの	受業時数 (**) ・実習・実 (**) ・実習・実 (**) で (**) で	<b>チュアズ</b> 無 消 オ		300 0 2,190 0 300	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状状か	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、8 PH http://www. (A:単位時 総	### (**)	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載 ment/design/graphic を連携した実験・実 を連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインター をと連携した演習の授 と 業時数	株式会社ホ 受審年月: ・実技の担 業時数 ・必修の実見 ・シンシップの ・実技の担 ・実技の担 ・実技の担 ・実技の担 ・実技の担 ・実技の担 ・実技の担 ・実技の担 ・実技の担 ・の ・の ・変形を ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の	受業時数 ・実習・実打 の授業時数 の授業時数) 受業時数	チュアズ無		300 0 2,190 0 300	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状状か	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、8 PH http://www. (A:単位時 総	### (**) ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載 ment/design/graphic を連携した実験・実 を連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインター	株式会社ホ 受審年月: ・実技の担 業時数 ・必修の実見 ・シンシップの ・実技の担 ・実技の担 ・実技の担 ・実技の担 ・実技の担 ・実技の担 ・実技の担 ・実技の担 ・実技の担 ・の ・の ・変形を ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の	受業時数 ・実習・実打 の授業時数 の授業時数) 受業時数	チュアズ無		300 0 2,190 0 300	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状状か	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、8 PH http://www. (A:単位時 総	### ### ### ### ### ### ### ### #### ####	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載 ment/design/graphic を連携した実験・実 を連携した演習の授 楽時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携した演習の授 等と連携したインター を連携した演習の授 等と連携した演習の授 業等数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した で	株式会社ホー 受審年月: ・実技の担 業時数 た必修の実態 ニーンシップの 音・実技の担 業時数	受業時数 (**)・実習・実注 (**)・実習・実注 (**)の授業時数) (**)・実習・実注 (**)の授業時数)	チュアズ無		300 0 2,190 0 300	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状状か	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、8 PH http://www. (A:単位時 総	### ### ### ### ### ### ### ### #### ####	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載  ment/design/graphic  be 連携した実験・実 を連携した演習の授い 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター を連携した実験・実 を連携した演習の授い 等と連携した演習の授い を連携した演習の授い を連携した演習の授い を連携した演習の授い を連携した演習の授い を連携した演習の授い を連携した演習の授い を連携した演習の授い を連携した演習の授い を連携した演習の授い を連携した演習の授い	株式会社ホー 受審年月: ・実技の担 業時数 た必修の実態 ニーンシップの 音・実技の担 業時数	受業時数 (**)・実習・実注 (**)・実習・実注 (**)の授業時数) (**)・実習・実注 (**)の授業時数)	チュアズ無		300 0 2,190 0 300	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状状か	株式会社TE ■民間の評 ※有の場合、8 PH http://www. (A:単位時 総	### ### ### ### ### ### ### ### #### ####	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載 ment/design/graphic を連携した実験・実 を連携した演習の授 楽時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携した演習の授 等と連携したインター を連携した演習の授 等と連携した演習の授 業等数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した で	株式会社ホー 受審年月: ・実技の担 業時数 た必修の実態 ニーンシップの 音・実技の担 業時数	受業時数 (**)・実習・実注 (**)・実習・実注 (**)の授業時数) (**)・実習・実注 (**)の授業時数)	チュアズ無		300 0 2,190 0 300	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状状か	株式会社TE ■ 民間の場合、修 ※有の場合、修 Nttp://www. (A:単位時 総 (B:単位数	### A S A S A S A S A S A S A S A S A S	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載 ment/design/graphic を連携した実験・実 を連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携したインター を連携した演習の授 等と連携したインター を連携した演習の授 業等と連携した方演習の授 業を連携した演習の授 業等を連携した演習の授 業等を連携した演習の授 業等を連携した演習の授 まました演習の授 まました演習の授 まました演習の授 まました演習の授 まました演習の授 まました。	株式会社ホー 受審年月: ・実技の担 ・実技の担 ・実技の担 ・を必修の実見 ・でである。 ・ででである。 ・ででである。 ・ででである。 ・ででである。 ・ででである。 ・ででである。 ・ででである。 ・ででである。 ・でででである。 ・ででである。 ・ででである。 ・ででである。 ・ででである。 ・でででである。 ・ででである。 ・ででである。 ・ででででである。 ・ででである。 ・でででである。 ・でででである。 ・ででである。 ・ででででである。 ・でででである。 ・ででででででですででででででででででででででででででででででででででででで	受業時数 (**)・実習・実注 (**)・実習・実注 (**)の授業時数) (**)・実習・実注 (**)の授業時数)	チュアズ無		300 0 2,190 0 300	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状状か	株式会社TE ■ 民間の場合、化 ※有の場合、化 (A:単位 (B:単位 総 (B:単位 (C)	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載  ment/design/graphic  をと連携した実験・実 をと連携した演習の授え 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター を連携した演習の授え 業時な うち企業等と連携した まと連携した演習の授え 業時な うち企業等と連携した を連携したで表 うち企業等と連携した は、一次を は、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	株式会社ホー ・実技の担 ・実技のの表 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・のでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いま	受業時数 ・実習・実打 ・実習・実力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実別 ・実別 ・実別 ・実別 ・実別 ・実別 ・実別 ・実別	チュアズ無	T-AN-VUR L	300 0 2,190 0 300	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状状か	株式会社TE ■ RE間の場合 ※有の場合 ※有の場合 ※有の場合 (A:単位 (B:単位 数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載  ment/design/graphic  beと連携した実験・実験を連携した演習の授業を連携した演習の授業等を連携した方の企業等と連携した方の企業等と連携したインターをと連携した演習の授業を連携した演習の授業を連携した演習の授業を連携した演習の授業を連携した演習の授業を連携した方を業等と連携した方の受験を連携したがある期間を表現した。	株式会社ホー ・実技の担 ・実技のの表 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・のでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いま	受業時数 ・実習・実打 ・実習・実力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実別 ・実別 ・実別 ・実別 ・実別 ・実別 ・実別 ・実別	チュアズ無	T-AN-VUR L	300 0 2,190 0 300	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状状か	株式会社TE ■ RE間の場合 ※有の場合 ※有の場合 ※有の場合 (A:単位 (B:単位 数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数	### SA (**) (**) (**) (**) (**) (**) (**) (**	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載  ment/design/graphic  beと連携した実験・実験を連携した演習の授業を連携した演習の授業等を連携した方の企業等と連携した方の企業等と連携したインターをと連携した演習の授業を連携した演習の授業を連携した演習の授業を連携した演習の授業を連携した演習の授業を連携した方を業等と連携した方の受験を連携したがある期間を表現した。	株式会社ホー ・実技の担 ・実技のの表 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・では、これでは、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できまない。 ・では、できない。 ・では、	受業時数 ・実習・実打 ・実習・実力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実習・要力 ・実別 ・実別 ・実別 ・実別 ・実別 ・実別 ・実別 ・実別	チュアズ無	T-AN-VUR L	300 0 2,190 0 300	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状状か	株式会社TE ■ R間場合 ※有の場合 ※有の場合 ※有の場合 (A:単位 ははたいが、 (B:単位 を表して、 (CT門しし)	### SA (**) (**) (**) (**) (**) (**) (**) (**	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載  ment/design/graphic  をと連携した実験・実験と連携した演習の授業 業等と連携した演習の授業 素と連携した演習の授業 を変響と連携した うち企業等と連携した をと連携した実験である。 をと連携した実験である。 まと連携した実験である。 まと連携した実験である。 まと連携した実験である。 まと連携した実験である。 まと連携した方と変響と連携した。 まと連携した方と変響と連携した。 まと連携した方と変響と連携した。 まを表現した。 まないのでは、またが、一般に従事した。 まないのでは、またが、一般には、またが、一般には、またが、一般には、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが	株式会社ホー ・実技の担 ・実技のの表 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・では、これでは、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できまない。 ・では、できない。 ・では、	受業時数 ・実習・実法 ・実習・実施 の授業時数) ・実習・実施 の授業時数) ・実習・実施 の授業時数) ・実習・実施 の授業時数)	チュアズ無	マームページUR L	300 0 2,190 0 300	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業署等の関いが、に記入)	株式会社の ■ RT M M M M M M M M M M M M M M M M M M	### SA X Y - O / D / A	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載  ment/design/graphic  を連携した実験・実 を連携した演習の授 要素時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した を連携した方面の授 要素時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した っちん。 を表	株式会社ホー ・実技の担 ・実技のの表 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・では、これでは、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できまない。 ・では、できない。 ・では、	受業時数 会・実習・実法 の授業時数) 受業時数) 受業時数) (専修学校	チュアズ 無 計 対 数 数の授業時数 数の授業時数	(マームページURL) (新作号) (新作号) (新作号) (新作号) (新作品) (新作品	300 0 2,190 0 300	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等と連携地状かに記入)	株式会社の ■ RT M M M M M M M M M M M M M M M M M M	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載  ment/design/graphic  を連携した実験・実 を連携した演習の授 要と連携した演習の授 要素等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した を変響をと連携した であった。 を変響をであった。 を変響をできませます。 このでは、一般であった。 に従事した者であった。 に従事した者であった。 に従事した者であった。 になる者等 を聴者	株式会社ホー ・実技の担 ・実技のの表 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・では、これでは、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できまない。 ・では、できない。 ・では、	受業時数 食・実習・実法 (電の授業時数) 受業時数 (専修学材 (専修学材	チュアズ 無 請 技の授業時数 なの授業時数	マームページURL 類第1号) 類第2号) 類第2号)	300 0 2,190 0 300 1 1 3 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 中単位 中単位 中単位 中単位 中単位 中単位 中単位 中単位 中	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業署等の関いずれた記入) 企業である。に記入)	株式民間場合 ※ A : 単位 位 総 は B : 単位 位 を を を は C で P し で で で P し で P し P し	SSスパークル、株 (	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載  ment/design/graphic  を連携した実験・実 を連携した演習の授 要と連携した演習の授 要素等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した を変響をと連携した であった。 を変響をであった。 を変響をできませます。 このでは、一般であった。 に従事した者であった。 に従事した者であった。 に従事した者であった。 になる者等 を聴者	株式会社ホー ・実技の担 ・実技のの表 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・では、これでは、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できまない。 ・では、できない。 ・では、	受業時数 食・実習・実法 質の授業時数) 受業時数) 受業時数) (専修学材 (専修学材 (専修学材	チュアズ 無 放の授業時数 なの授業時数 をの授業時数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	デームページURL (第1号) (第1号) (第3号) (第4号)	300 0 2,190 0 300 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 時間 単位 時間 単位 中華 単位 中華 単位 中華 単位 中華 単位 人人人人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業署等の関いずれた記入) 企業である。に記入)	株式民間の場合 ※ A : 単位 Mttp://www. (A : 単位 位総 を数 を数 を数 を数 を数 を数 を数 を数 を数 を数	### SA (	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載  ment/design/graphic  を連携した実験・実 を連携した演習の授 要と連携した演習の授 要素等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した を変響をと連携した であった。 を変響をであった。 を変響をできませます。 このでは、一般であった。 に従事した者であった。 に従事した者であった。 に従事した者であった。 になる者等 を聴者	株式会社ホー ・実技の担 ・実技のの表 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・では、これでは、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できまない。 ・では、できない。 ・では、	受業時数 食・実習・実法 質の授業時数) 受業時数) 受業時数) (専修学材 (専修学材 (専修学材	チュアズ 無 数の授業時数 なの授業時数 をの授業時数 を設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	デームページURL (第1号) (第1号) (第3号) (第4号)	300 0 2,190 0 300 1 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位 人 人 人 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業署等の関いずれた記入) 企業である。に記入)	株式民間の場合 ※ A : 単位 Mttp://www. (A : 単位 位総 を数 を数 を数 を数 を数 を数 を数 を数 を数 を数	### SA X (	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載  ment/design/graphic  を連携した実験・実 を連携した演習の授 要と連携した演習の授 要素等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した を変響をと連携した であった。 を変響をであった。 を変響をできませます。 このでは、一般であった。 に従事した者であった。 に従事した者であった。 に従事した者であった。 になる者等 を聴者	株式会社ホー ・実技の担 ・実技のの表 ・実技を多いである。 ・実技を多いである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・実技をのである。 ・では、これでは、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できません。 ・では、できまない。 ・では、できない。 ・では、	受業時数 食・実習・実法 質の授業時数) 受業時数) 受業時数) (専修学材 (専修学材 (専修学材	チュアズ 無 数の授業時数 なの授業時数 をの授業時数 を設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	デームページURL (第1号) (第1号) (第3号) (第4号)	300 0 2,190 0 300 1 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業署等の関いずれた記入) 企業である。に記入)	株式民間場合 ※ A : 単位 にTipy の は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	### 1	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載  ment/design/graphic  をと連携した実験・実 をと連携した演習の授 業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した をと連携した方習の授 業をと連携した方面の授 をと連携した方面の まる。 をと連携した方面の まる。	株式会社ホース 受害年年月: またい 大学	受業時数 ・実芸 ・ 実 ・ 実 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要	チュアズ 無 対力 数の授業時数 数の授業時数 数の授業時数 数置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	(一ムページURL) (東第1号) (東第2号) (東第3号) (東第4号) (東第5号)	300 0 2,190 0 300 1 1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業署等の関いずれた記入) 企業である。に記入)	株式民間場合 評化 http://www. http://www. は bttp://www. は bttp:	### 1	式会社東京ドーム、 者評価: 意記載  ment/design/graphic  をと連携した実験・実験を連携した演習の授験 表と連携した演習の授験 表と連携した演習の授験 表と連携した演習の授験 表と連携した演習の授験 をと連携したである。 ある企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した を等と連携したであった。 まと連携した後のである。 まと連携した後のである。 まと連携した後のである。 まと連携した後のである。 まと連携したがある。 まと連携したがある。 まと連携したを変勢と連携した。 まと連携したを変勢と連携した。 まと連携したを変勢と連携した。 まを表験 まを呼吸がある。 まを表現したがある。 まを表現した。また。 まを表現した。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また	株式会社ホース 受害年年月: またい 大学	受業時数 ・実芸 ・ 実 ・ 実 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要 ・ 要	チュアズ 無 対力 数の授業時数 数の授業時数 数の授業時数 数置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	(一ムページURL) (東第1号) (東第2号) (東第3号) (東第4号) (東第5号)	300 0 2,190 0 300 1 300 1 1 6	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。 |関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

コンピュータグラフィック分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。またコンピュータグラフィック分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。また、教育課程編成委員会の意見は科内企業で実践されたのな、校長の許可を終て決定する

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
田中 一郎	株式会社クラウドアトラス 代表取締役	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
瀧澤 栄	合同会社まりむ プロデューサー/CGディレクター	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	1
篠原 たかこ	CG-ARTS(公益財団法人 画像情報教育振興協会) 教育事業部 事業部長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	1
中村 英詞	日本工学院専門学校 校長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
兼松 貴世	日本工学院八王子専門学校 デザインカレッジ CG映像科 科長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
金光 拓也	日本工学院専門学校 デザインカレッジ CG映像科 科長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
			_
			_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 3月 10月予定

(開催日時(実績))

第1回 令和6年09月20日 10:00~12:00 第2回 令和7年03月11日 10:00~12:00

0

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

PC必携化に向けたスペック、売り手市場であるとの業界市場の動向、業界間の給与格差、AI技術の台頭について作品選考にも変化が起きている、などについて議論したことで情報交換をすることができ、CG映像科の運営に役立てた。

- |2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

教育現場とプロダクションの作業工程を近づけることで新卒の人材が即戦力として活躍できる場を作ることを課題とし、取り組む。また、基礎概念としての作品作りに携わる覚悟やグループ制作においての役割を理解し自ら動き他人を助けられる人 大の意味を見たす。

- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- プリプロダクションから完成までの作業の専門用語や作業の意味、流れをレクチャーにて理解し、実践していく。2年次におい

てCG業界の分業制を理解し、専門分野でのスキルアップを図った後、3年次の卒業制作において各自のスキルを持ち寄り、 声優演劇科や音響芸術科など他学科との協業を行いながら作品を完成させる。評価は業界で活躍されている講師陣、専任 教師陣によるクロス評価を行う。 (3) 旦体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載

	(村日数については代表的な5件日について記載。	
科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
デジタル演習3	デジタルソフトウエァを通しモデリングについて専門的な 技術を学ぶ。	カフェグループ
デジタル演習4	デジタルソフトウェァを通しアニメーション・リギングにつ いて専門的な技術を学ぶ	カフェグループ
プロジェクトワーク5	進路指導の一環として、自己表現や作品アビールの方法について学び、トレーニングを行う。また、プロダクションワークフローを実践し、現実のプロダクションの流れを再現し作品制作を行う	ポリゴン・ピクチュアズ オムニバス・ジャパ
プロジェクトワーク6	進路指導の一環として、目己表現や作品アビールの方法について字 び、トレーニングを行う。また、プロダクションワークフローを実践し、現 実のプロダクションの流れを再現し作品制作を行う	ポリゴン・ピクチュアズ オムニバス・ジャパ

#### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

時代の変化に伴い分野での専門性にも大きな技術的変化の波がおしよせており、常に教員は「働く現場」についての現状把 握と今後の改革の方向性や、業界の新たな業界像について知識を刷新する必要があり、専門分野での定期的な研修や視 察を行い意識を高く持つ必要がある。研修を行い問題点や方向性の共有を行う。

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

近未来のノンリニアな映像コンテンツを創造するために、 研修名: 連携企業等:株式会社クリーク・アンド・リバー社 いま知っておくべきこと

対象: デザインカレッジ・クリエイ ターズカレッジ教員 期間: 2024年9月24日(火)

欧州DVB-NIPを例に、放送とインターネット融合によるノンリニアでゲーム的な映像コンテンツの最新動向と 内容 学生が将来直面する、エンター テインメントのこれまでにない進化に対応するためのスキルについて。

②指導力の修得・向上のための研修等

AI研修『AIの今とこれから 教育現場への活用/専門学校 研修名: 連携企業等: 株式会社グルーヴノーツ/株式会社リクルート の市場と今後の動向

2024年3月28日(木) 対象: 全教職員 期間:

加速するAIの普及による教育現場への影響と今後の展望を知り、また高校生のトレンドを知ることで専門学 内容

校としての経営戦略のあるべき姿を探る。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

東京ゲームショウ2025 連携企業等: -般社団法人コンピュータエンターティンメント協会(CESA) 研修名:

対象: デザインカレッジ教員 期間: 2025年9月25日(木)~9月28日(日)

ケームを中心とするコンヒュータエンターナインメント開発に携わる企業・クリエイターかー室に会し、様々な 分野においての業界最先端の知見を公表するカンファレンスに参加し、業界の先端動向についての知識を 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

デジタルガジェット/VR・メタバース 連携企業等:株式会社クリーク・アンド・リバー社 研修名:

対象: デザインカレッジ・クリ 期間: 2025年8月6日 エイターズカレッジ教員

株式会社Shiftall代表取締役CEOによるVR・メタバースについての応用方法。ゲーム・CG分野、プロダクト 内容

分野、への幅広い活用について知る。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念·目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献·地域貢献
(11)国際交流	00000

## ※(10)及び(11)については任意記載。

### (3)学校関係者評価結果の活用状況

精神面による体調不良に悩む学生に対しての当校のサポート体制について委員に現状を説明したところ、多くの委員から以下のご意見を頂いた。

- ・企業内でも新入社員など若手が精神面による体調不良で就業に影響が出るケースが増えている。
- ・原因の一つとして、コロナ禍にあったここ数年で学生時代に人間関係構築の場が少なかった事も影響があるのではないか。
- 以上のご意見を踏まえ、当科では以下のように活用していく。
- ・在学中のみならず学生が社会に出てからも心身ともに健康に生活できるよう、学生時代にしか経験できない人間関係構築の場をより多くつくり、学業以外のイベントや部活動等に対しても支援に努めていく。
- ・当校には専門的な知識と経験を持つスタッフが在中するヘルスサポートセンターがあり、当科の担任は悩みを持つ学生に対して、ヘルスサポートセンターとの連携をより強め、安心して学生生活を送れるよう支援に努めていく。

# (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

			カーロジル
名 前	所 属	任期	種別
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 最高顧問	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	IT企業等委員 /卒業生委員
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	地域関連/ 会計専門委員
壶阪 敏秀	株式会社テレビ神奈川 取締役・編成局長兼報道局長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ 企業等委員
小澤 賢侍	CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会) 教育事業部教育推進グループセクションチーフ	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ /デザイン企 業等委員
吉崎 彰	一般社団法人 大田工業連合会 事務局長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	テクノロジー 企業等委員
田山 順一	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 常務理事	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	ミュージック 企業等委員
宮地 裕	学校法人上野塾 東京実業高等学校 進路指導部部長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	学校関連

)

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物・ その他(

URL: https://www.neec.ac.ip/public/

公表時期: 令和7年9月30日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員•教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設•設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(11)その他	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿

)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物・ その他(

URL: https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日

# 授業科目等の概要

				課程 CG映像科					授業方法				111	_		
	i	分類	Į			ж-1	740		授	業プ		場	肵	教	頁	_
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技	校内		専任		企業等との連携
1			0	検定対策 1	各種検定認定 試験合格のためのスキルを修 得します。	1 · 前	30	2	0			0			0	
2			0	検定対策 2	各種検定認定 試験合格のためのスキルを修 得します。	1 · 後	30	2	0			0			0	
3			0	ビジネススキル 1	社会進出のために必要とされる基本的なス キルを身につけます。	1 · 後	30	2	0			0		0		
4	0			プレゼンテーション 1	進路指導の一環として、自己表現や作品アピールの方法について学び、トレーニングを行います。また、自己表現のツールとして重要なポートフォリオ(作品集)について研究し、実際に作品をまとめる作業を行っていきます。	1 • 前	30	1			0	0		0		
5	0			プレゼンテーション 2	進路指導の一環として、自己表現や作品アピールの方法について学び、トレーニングを行います。また、自己表現のツールとして重要なポートフォリオ(作品集)について研究し、実際に作品をまとめる作業を行っていきます。	1 • 後	30	1			0	0			0	
6	0			デジタル演習 1	多岐に渡るCG アプリを実習を通して学び、 コンテンツ制作における基礎的なデジタル 技法を修得します。	1 • 前	60	2			0	0		0		
7	0			デジタル演習 2	多岐に渡るCG アプリを実習を通して学び、 コンテンツ制作における基礎的なデジタル 技法を修得します。	1 · 前	60	2			0	0		0		
8	0			デジタル演習 3	多岐に渡るCG アプリを実習を通して学び、 コンテンツ制作における基礎的なデジタル 技法を修得します。	1 . 後	60	2			0	0		0		0

9	0		デジタル演習 4	多岐に渡るCG アプリを実習を通して学び、 コンテンツ制作における基礎的なデジタル 技法を修得します。	1 . 後	60	2		0	0	0		0
10	0		プロジェクトワーク 1	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。	1 • 前	60	2		0	0	0		
11	0		プロジェクトワーク 2	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。	1 • 前	60	2		0	0	0		
12	0		プロジェクトワーク 3	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。	1 . 後	60	2		0	0		0	
13	0		プロジェクトワーク4	デジタル演習などで習得したスキルを活用 して個人またはグループで作品制作を行い ます。制作物は学内での講評会や、学外の 展示会などで発表します。	1 . 後	60	2		0	0		0	
14	0		デッサン 1	デッサンを通してCG デザイナーに必要とされる観察力や画力を養います。	1 • 前	60	2		0	0	0		
15	0		デッサン 2	デッサンを通してCG デザイナーに必要とされる観察力や画力を養います。	1 · 後	60	2		0	0		0	
16	0		美術基礎 1	CGデザイナーに必要とされる美術の基礎教養を学びます。デッサンの補習を行う場合もあります。	1 • 前	60	2		0	0	0		
17	0		美術基礎 2	CGデザイナーに必要とされる美術の基礎教 養を学びます。デッサンの補習を行う場合 もあります。	1 • 後	60	2		0	0	0		
18		0	ビジネススキル2	社会進出のために必要とされる基本的なス キルを身につ けます。	2 • 前	30	2	0		0		0	

									1					
19		0	キャリアデザイン 1	業界研究、自己分析などをさらに進め、 キャリアパスの構築を行います。	2 · 後	30	2	0			0	0		
20	0		プレゼンテーション 3	自己表現や作品アピールの方法について学 びます。また、ポートフォリオ(作品集) をまとめる作業も行います。	2 • 前	30	1			0	0	0		
21	0		プレゼンテーション 4	自己表現や作品アピールの方法について学 びます。また、ポートフォリオ (作品集) をまとめる作業も行います。	2 · 後	30	1			0	0	0		
22	0		デジタル演習 5	多岐に渡るCG アプリを実習を通して学び、 コンテンツ制作におけるより高度なデジタ ル技法を修得します。	2 • 前	60	2			0	0		0	
23	0		デジタル演習 6	多岐に渡るCG アプリを実習を通して学び、 コンテンツ制作におけるより高度なデジタ ル技法を修得します。	2 · 前	60	2			0	0		0	
24	0		デジタル演習 7	多岐に渡るCG アプリを実習を通して学び、 コンテンツ制作におけるより高度なデジタ ル技法を修得します。	2 · 後	60	2			0	0	0		·
25	0		デジタル演習8	多岐に渡るCG アプリを実習を通して学び、 コンテンツ制作におけるより高度なデジタ ル技法を修得します。	2 · 後	60	2			0	0	0		
26	0		プロジェクトワーク 5	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。他学科とコラボレーションする場合があります。	2 • 前	60	2			0	0	0		0
27	0		プロジェクトワーク 6	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。他学科とコラボレーションする場合があります。	2 · 前	60	2			0	0	0		0
28	0		プロジェクトワーク 7	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。他学科とコラボレーションする場合があります。	2 · 後	60	2			0	0	0		0

										 •				
29	0			デッサン 3	デッサンを通してCG デザイナーに必要とされる観察力や画力を養います。	2 • 前	60	2		0	0			0
30	0			デッサン 4	デッサンを通してCG デザイナーに必要とされる観察力や画力を養います。	2 · 後	60	2		0	0			0
31	0			美術基礎3	CGデザイナーに必要とされる美術の基礎教養を学びます。デッサンの補習を行う場合もあります。	2 • 前	60	2		0	0	,	0	
32	0			美術基礎4	CGデザイナーに必要とされる美術の基礎教養を学びます。デッサンの補習を行う場合もあります。	2 · 後	60	2		0	0	,	0	
33		(	0	VFX演習 1	3科目の中から、希望する専攻 ( VFX 専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を1科目選択して受講します。	2 • 前	30	1		0	0			0
34		(	0	アニメーション演習 1	3科目の中から、希望する専攻 ( VFX 専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を2科目選択して受講します。	2 · 前	30	1		0	0			0
35		(	0	モデリング演習 1	3科目の中から、希望する専攻 ( VFX 専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を3科目選択して受講します。	2 • 前	30	1		0	0			0
36		(	0	VFX演習 2	3科目の中から、希望する専攻 ( VFX 専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を1科目選択して受講します。	2 · 後	60	2		0	0			0
37		C	0	アニメーション演習 2	3科目の中から、希望する専攻 ( VFX 専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を2科目選択して受講します。	2 · 後	60	2		0	0			0
38		C	0	モデリング演習 2	3科目の中から、希望する専攻 ( VFX 専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を3科目選択して受講します。	2 · 後	60	2		0	0			0
39	0			キャリアデザイン2	業界研究、自己分析などをさらに進め、 キャリアパスの構築を行います。企業を招 いて業界セミナーを実施する場合もありま す。	2 • 前	30	2	0		0	,	0	
40	0			キャリアデザイン3	業界研究、自己分析などをさらに進め、 キャリアパスの構築を行います。企業を招いて業界セミナーを実施する場合もあります。	2 · 後	30	2	0		0		0	
41	0			表現研究 1	進路指導の一環として、自己表現や作品アピールの方法について学び、トレーニングを行います。デモリールによる作品アピールの技法などを研究し、より効果的なポートフォリオの制作に臨みます。	2 • 前	60	4	0		0			0
42	0			表現研究 2	進路指導の一環として、自己表現や作品アピールの方法について学び、トレーニングを行います。デモリールによる作品アピールの技法などを研究し、より効果的なポートフォリオの制作に臨みます。	2 · 後	30	2	0		0			0

43	0		制作特論 1	専攻(VFX 専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の理解をより深めるために、専攻に強く関連するリベラルアーツを専攻別に用意し受講します。	2 • 前	60	4	0		0		0
44	0		制作特論 2	専攻(VFX 専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の理解をより深めるために、専攻に強く関連するリベラルアーツを専攻別に用意し受講します。	2 · 後	60	4	0		0		0
45	0		デジタル演習 9	多岐に渡るCG アプリを実習を通して学び、 コンテンツ制作のより高度なデジタル技法 を修得します。	2 • 前	60	2		0	0		0
46	0		デジタル演習10	多岐に渡るCG アプリを実習を通して学び、 コンテンツ制作のより高度なデジタル技法 を修得します。	2 • 前	60	2		0	0		0
47	0		デジタル演習11	多岐に渡るCG アプリを実習を通して学び、 コンテンツ制作のより高度なデジタル技法 を修得します。	2 · 後	60	2		0	0		0
48	0		デジタル演習12	多岐に渡るCG アプリを実習を通して学び、 コンテンツ制作のより高度なデジタル技法 を修得します。	2 · 後	30	1		0	0		0
49	0		プロジェクトワーク8	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。他学科とコラボレーションする場合があります。	2 • 前	60	2		0	0	0	
50	0		プロジェクトワーク 9	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。他学科とコラボレーションする場合があります。	2 • 前	60	2		0	0	0	
51	0		プロジェクトワーク10	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。他学科とコラボレーションする場合があります。	2 · 後	60	2		0	0		0
52	0		プロジェクトワーク11	デジタル演習などで習得したスキルを活用して個人またはグループで作品制作を行います。制作物は学内での講評会や、学外の展示会などで発表します。他学科とコラボレーションする場合があります。	2 · 後	30	1		0	0		0
53		0	VFX演習 3	3科目の中から、希望する専攻 ( VFX 専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を1科目選択して受講します。	2 • 前	60	2		0	0		0
54		0	アニメーション演習 3	3科目の中から、希望する専攻 ( VFX 専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を2科目選択して受講します。	2 • 前	60	2		0	0		0
55		0	モデリング演習 3	3科目の中から、希望する専攻 ( VFX 専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻)の科目を3科目選択して受講します。	2 • 前	60	2		0	0		0

56		0		3科目の中から、希望する専攻 ( VFX 専 攻、アニメーション専攻、モデリング専 攻)の科目を1科目選択して受講します。	2 • 後	60	2	0	0			0
57		0		3科目の中から、希望する専攻 ( VFX 専 攻、アニメーション専攻、モデリング専 攻)の科目を2科目選択して受講します。	2 · 後	60	2	0	0			0
58		0	モデリング演習 4	3科目の中から、希望する専攻 ( VFX 専 攻、アニメーション専攻、モデリング専 攻)の科目を3科目選択して受講します。	2 · 後	60	2	0	0			0
		合	<u>=</u>	58	7	科目		2970	単位	立 (	単位	時間)

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件:	1年次必須780時間、選択30時間合計810時間。2年次必須720時間、選択90時間、合計810時間。 3年次必須690時間、選択120時間、合計810時間。卒業時に合計2430時間以上取得すること。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	1 年次: 必修科日は宝 C 復修する事。選択科日は30時间以上復修すること 2 年次: 必修科目は全て履修する事。選択科目は90時間以上履修すること 3 年次: 必修科目は全て履修する事、選択科目は120時間以上履修するこ	1 学期の授業期間	15 週

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。